

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことのはプラス-彩り-石垣教室		
○保護者評価実施期間	令和 8年 2月 5日	～	令和 8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 5日	～	令和 8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○訪問先施設評価実施期間	令和 8年 2月 5日	～	令和 8年 2月 28日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・園、学校、ご家庭、事業所等と連携して児童生徒の特性に合わせた支援をしており、児童が困っている場面を観察し支援できる体制を整えている。また、ご家族とも向き合いながら支援の方向性を決めている。	・児童生徒の目線で物事を考え、困り感を共有する為、日々会議や声掛け等を行い、全ての支援者が同じ方向性をもって支援出来るように取り組んでいる。	・園や学校等での出来事を振り返り、ご家庭や学校等の先生等にアプローチしていく。また、振り返りの際に困り感などがあれば再度、観察を試み方向性を整えていく。
2	・個々の児童のアセスメントを適切に行っている事で、課題を客観的に分析した上で、職員全体で会議をしながら充実を図っている。	・常に児童の事に対して、不明な点や困り感があれば職員間で共有し、よりよい支援に繋がるよう会議を開く事が出来る。	・必要があれば都度、園や学校等でも会議を持つなどして、保護者様だけではなく学校等の職員とも共有を図り、児童生徒が安心して登園・登校出来るように支援出来るよう促す。
3	・様々な職種の職員がいること。	・保育士や言語聴覚士、理学療法士が在籍しており、いろいろな視点で療育に携わる事が出来ている。	・ご家庭や園・学校等での困り感をいろいろな視点からアイデア等を出し合い、児童生徒に合わせた支援が出来るようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保育所等訪問支援を開始出来ていない。	・保護者の皆様が保育所等訪問支援事業をご存じない方が多い事や、園・学校での困り感の共有が出来ていない。	・保育所等訪問支援が必要である児童生徒の保護者様へ支援の内容を説明し利用を促していく。
2	・保護者会の参加、開催や保護者様との交流の場が少ない。	・保護者会や交流会の時間の確保。 ・事業所作りが優先され、取り組めていなかった。	・面談や交流会の希望を募り、定期的に交流出来る機会を設けたい。 ・事業所主催だけではなく、地域でペアレントトレーニング等のセミナーが開催された際には、保護者様にも周知を行ってきたい。
3	・園や学校との情報共有の場が少ない。	・園や学校の様子や事業所での様子を会議で共有するにとどまっで現場での細かなやりとりが出来ていない。	・園や学校と訪問時前後のやりとりをする事で、より共有が深まるようにしていきたい。